

農作物被害対策 3本柱

生息環境管理

人間活動の影響力の低下が、野生鳥獣を引き寄せています。

ヒコバエを除去することは、
水田への出没回数を減らします

緩衝帯を設けることは
潜み場の除去に繋がります

寄せ付けないため、
放任果樹などは伐採しましょう



▲兵庫県立大学 山端直人 氏 提供

野生動物にとって収穫後の残渣・放任果樹、ゴミなどは、人が被害と思わない「エサ」です。

侵入防止

下段の高さ、下部の空間、適切な管理など、防護柵を効果的に設置しなければ、防護柵内に侵入されてしまいます。

【侵入防止柵の例】



トタン柵(2段)



ネット柵(漁網の再利用)



電気柵(2段～3段)



金網柵



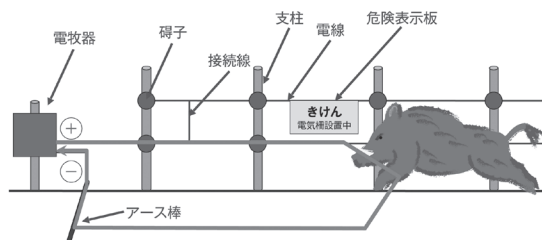
ワイヤーメッシュ柵



電気ネット柵

▲農研機構 提供

【電気柵のしくみ】



電気ショックが起きる仕組み(電気の流れ)
電牧器→電線→動物→地面→アース→電牧器
(野生鳥獣が電線に触れることによって回路ができる)

柵の種類	ポイント	注意点
電気柵	地上から20cm、40cmの2段張りが効果的。 (中型動物は1段目の高さが10cmの3段張り)	漏電防止のため草刈りと除草剤の併用や防草シートを活用する。
トタン柵	高さを80cm以上にし、中の作物を見せない。 「目隠し効果」を利用する。	隙間なく地面に埋め込み、強度のある柱で両側から固定する。
金網柵	高さ150cm以上が効果的。ネット柵との併用も効果的。	隙間なく地面に埋め込み、強度のある柱で両側から固定する。
ネット柵	網目が10cm以下の獣害専用ネットが効果的。 内側には目隠し効果のあるシートを張り、外側はネットを1m垂らし、先端を杭で固定する。	1m斜めにネットを張り、飛び越えにくいように設置固定する。

個体群管理

捕獲だけでは被害は
減少しません。

- 罠、狩猟によって捕獲
- 加害個体の捕獲
- 追い払い



有害鳥獣捕獲を実施しています。

事故防止には万全を期していますが、時期によっては銃器を使用しますので、入山の際には目立つ服装をしていただくなど、ご協力をお願いします。

実施期間 令和8年4月1日(水)～令和9年3月31日(水)

捕獲方法 箱わな

対象鳥獣 イノシシ

※くくり罠や小動物の捕獲は、期間を設けて行っています。

野生鳥獣に「危険」「食べることができない」場所であることを学習させ、被害を防ぐには、地域住民が主体的に行わなければなりません。

有害鳥獣の生態と特徴



イノシシ

頭胴長 120cm～150cm
体 重 50kg～150kg
食 性 雑食性 好物は果実・米・筍・栗・野菜など
性成熟 約1～2歳
出 産 年1回で3～5頭

特 徴

- ・毛色は褐色から暗黒色で剛毛
- ・土の中を掘って食物を食べる
- ・柔軟性があり、跳躍力は1m以上
- ・警戒心が強く、学習能力が高い
- ・鼻を使い50kg以上の石を動かす



ハクビシン

頭胴長 50cm～70cm
体 重 2.0kg～3.5kg
食 性 雑食性 好物は果実・野菜・昆虫・卵など
性成熟 約2歳
出 産 年1回で1～4頭

特 徴

- ・夜行性
- ・長い尾と鼻筋に白い線
- ・木登り、縦ジャンプが得意
- ・頭が入る隙間は出入りできる
- ・複数のねぐら(屋根裏など)に住み着く



アライグマ【特定外来生物】

頭胴長 70～90cm
体 重 4.0～10.0kg
食 性 雑食性 好物は果実・木の実・野菜など
性成熟 約1歳
出 産 年1回で3～6頭

特 徴

- ・夜行性で前足が非常に器用
- ・尾に4～7重の縞模様
- ・目の周りに黒い帯
- ・気性が荒く学習能力が高い
- ・木登り、泳ぎが得意



キョン【特定外来生物】

※茨城県では目撃情報・捕獲褒賞金制度を設置

頭胴長 70～80cm
体 重 7～10kg
食 性 新芽などの柔らかい草木
性成熟 6カ月～
出 産 1産1子(約210日)

特 徴

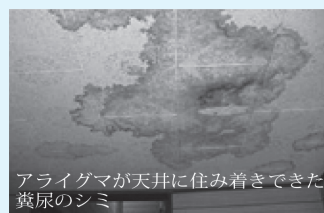
- ・朝夕に活動
- ・小型のシカ科(中型犬程度)
- ・茶褐色で目の下に眼下腺
- ・雄は角(15cm程度)と牙がある
- ・特徴的な鳴き声をだす

※特定外来生物の生きたままの運搬や飼育・譲渡・輸入・放獣は法律により厳しく罰せられます！ご不明な点がありましたら、農業政策課までお問い合わせください。

《ハクビシン・アライグマに登らせない！侵入させない！》

人家・神社・寺などの屋根裏をねぐらにし、断熱材などを巣材にします。糞尿、寄生虫などによって、人畜共通感染症の感染も懸念されます。

- ・家屋の侵入口になりそうな建物の隙間などを塞ぎ、背の高い庭木はこまめに剪定
- ・足跡や爪痕等から侵入経路を探り、物理的に出入り口(換気口、軒下、戸袋の隙間など)を塞ぐ。
- ・樹木用有刺鉄線などの利用で果樹を守る。



アライグマが天井に住み着きできた糞尿のシミ

スイカの食べ痕から、鳥獣を特定できます



アライグマ

穴を開けて、くり抜くように中身だけを食べる。

ハクビシン

大きな穴を開けて、頭を突っ込んで食べる。

カラス

クチバシを刺しこんで割って食べる。